

「グリーン水素の活用促進に関する基本合意書」の 山梨県との締結について

東京都と山梨県は、グリーン水素の活用促進等に関し連携することを目的として、本日、基本合意書を締結いたしましたので、お知らせいたします。

1 合意書の概要

東京都及び山梨県は、以下について相互に連携して取り組むことに合意

- 1 山梨県産グリーン水素の東京都内における利用促進に関すること。
- 2 グリーン水素の製造から利用における技術開発の促進に関すること。
- 3 グリーン水素の広報・普及啓発に関すること。

2 締結式の様子



長崎幸太郎 山梨県知事

小池百合子 東京都知事

本件は、「『未来の東京』戦略」を推進する事業です。
戦略14 ゼロエミッション東京戦略

〔問合せ先〕

産業労働局産業・エネルギー政策部
新エネルギー推進課
電話 03-5388-3570

【参考】

① グリーン水素

再生可能エネルギー由来の電力を利用して、水を電気分解して生成される水素です。東京都では、2050年にあらゆる分野におけるグリーン水素本格活用と2030年に向けた水素の需要拡大・社会実装化を目指しています。

グリーン水素 (再エネ由来水素)

再エネ由来の電力を利用して水を電気分解して生成される水素

ブルー水素

化石燃料を原料とするが、製造過程で発生するCO₂を回収・貯留することで大気中にCO₂を放出しない水素

グレー水素

天然ガスや石油などの化石燃料を原料として製造される水素

※東京水素ビジョン（令和4年3月25日公表）

<https://www.sangyo-rodou.metro.tokyo.lg.jp/energy/hydrogen/green/>

② 山梨県米倉山で再生可能エネルギー電力で製造されたグリーン水素

山梨県米倉山に設置した米倉山太陽光発電所の電力のうち、余剰の電力を利用して、Power to Gas (P2G) という電力からガスを作る新たな技術により、山梨県産グリーン水素を製造しています。県内外に供給することで水素エネルギー社会の構築に貢献することを目指しています。



国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）

CO₂フリーの水素社会構築を目指したP2Gシステム技術開発(2016-2022)

※山梨県・米倉山電力貯蔵技術研究サイト 全景 ©山梨県企業局

<https://www.pref.yamanashi.jp/newene-sys/>